

移動美術館2019

## こころ、かたどる

—あいちの美の双璧、蒲郡へ—

市制 65 周年 & 博物館 40 周年の節目を記念して、愛知県美術館・愛知県陶磁美術館所蔵の素晴らしい絵画・彫刻・陶芸などを展示します！

**と き** 9月21日(土)～10月20日(日)

**と ころ** 特別展示室・ギャラリー



《待つ》  
アンリ・マティス  
愛知県美術館 所蔵



《梁錦桜下酒宴図大皿》  
清時代  
愛知県陶磁美術館 所蔵



### SL写真と 鉄道ミニチュア 機関車展

蒲郡 SL を守る会の協力で、機関車などの鉄道模型を走らせます。

D51 写真パネルや鉄道グッズの展示も行います。

**と き** 9月14日(土)～16日(日)

(初日は午後1時から、最終日は午後4時まで)

**と ころ** ギャラリー

## 竹島水族館 Aquarium

☎ 68-2059

館長の  
わんぱく  
おじさん



小林龍二



おわかり  
いただけただろうか？

私は蒲郡生まれの蒲郡育ちの蒲郡の水族館に通っていた人間なので、モノゴコロ付く前から竹島水族館に來ています。  
おそらく生まれて初めて行った水族館は竹島水族館で、保育園の遠足も竹島水族館。小学校の写生大会も竹島水族館。そして今これを書いているのも竹島水族館。

小さいころの竹島水族館の思い出はドンヨリ湿った空気で暗くて人があまりいない、といったイメージでした。その雰囲気さをさらに怖くするのが、水槽のガラスに貼り付いたエイ。現在のカピバラ展示のところにあった水槽や、その前にある上からのぞく水槽にペラペラとエイが怪しげに泳いでおり、ガラス面に貼り付くとケタケタ笑った妖怪一反もめんのように不気味でした。海でこんなものに出会って上から覆いかぶさられたら、いさぎよく溺れようと思っていました。

この不気味なエイの顔（正確には顔でなく裏側）を見せて子どもたちの好奇心や海への畏怖の念を高める水槽を考えて、先日、水槽工事業者さんに見積りをとりました。面白い水槽になりそうですが、見積額が高くてちょっと心が折れました。

